

令和8年度

葛飾区 健康診査・検診の ご案内



◆ 目 次 ◆

項目名	対象者	ページ
<u>特定健康診査</u>	● 40歳～74歳までの葛飾区国民健康保険にご加入中（4月1日から受診日当日まで引き続き）の方	1
<u>健康長寿筋肉元気健康診査</u>	● 特定健康診査の対象者のうち70歳の方※	1
<u>長寿医療健康診査</u>	● 75歳以上の方 ● 65歳～74歳で一定の障害があり、後期高齢者医療保険にご加入の方	2
<u>健康長寿いきいき健康診査</u>	● 長寿医療健康診査の対象者のうち76・81歳の方※	2
基本健康診査	● 40歳以上で生活保護を受給している方のほか区の定める要件に該当する方※	3
健康づくり健康診査	● 20歳～39歳の方※ ● 3歳未満※のお子さんをお持ちの父母	3
肺がん検診	● 40歳以上の方※ （健康診査と同時受診できます。）	4
前立腺がん検診	● 60歳～74歳の男性※ （健康診査と同時に受診できます。）	4
大腸がん検診	● 40歳以上の方※ （健康診査と同時受診に限ります。）	4
胃がん（内視鏡）検診	● 50歳以上の方※	5
乳がん検診	● 40歳以上の女性※	6
子宮頸がん検診	● 20歳以上の女性※	6
<u>胃がんハイリスク検診</u>	● 特定健康診査を受診する40歳の方※	7
肝炎検査	● 過去にB・C型ウイルス肝炎検査を受けたことがない方または医師が必要と認めた方	7
眼科健康診査	● 45・50・60歳の方※	8
骨粗しょう症予防検診	● 40・45・50・55・60・65・70歳の女性※	8
精密検査について		9
健診（検診）の受診のしかた		裏表紙

特定健康診査

実施期間：令和8年6月1日～令和8年9月30日



▲HPはこちら

対象

令和8年4月1日現在から、受診日当日まで引き続き葛飾区国民健康保険に加入している40歳～74歳の方（昭和26年6月2日生～昭和62年3月31日生の方）

対象外の方

※受診券が届いた場合でも、1つでも当てはまる場合は受診できません。

- ・介護保険施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院）等に入所している方
- ・6か月以上の長期入院をしている方
- ・妊娠している方
- ・令和8年4月2日以降に葛飾区国民健康保険の資格を喪失した方

持ち物

- ①令和8年度葛飾区特定健康診査受診券（裏面の質問票を記入したもの）
 - ②健康診査・検診受診券
 - ③マイナ保険証（健康保険証として利用登録したマイナンバーカード）、または資格確認書
- ※機器の故障などにより医療機関でマイナ保険証が利用できない場合は、マイナ保険証と併せて「マイナポータル」の資格情報画面）または「資格情報のお知らせ」を医療機関に提示してください。

健診内容

【基本検査】

身体測定、血圧測定、肝機能検査、血中脂質検査、血糖検査、尿検査、腎機能検査

【医師の判断などで実施する検査】

貧血検査、心電図検査、胸部エックス線検査

※65歳以上の方は年に1回の胸部エックス線検査（結核健診）が義務付けられています。

【健診結果】

受診した医療機関でご確認ください。

受診期間中に75歳になる方へ

特定健康診査は誕生日の前日まで受診できます。誕生日以降は「長寿（後期高齢者）医療健康診査」の対象となり、誕生月の前月末に受診券を送付します。

★どちらか一方しか受診できません。

勤務先の健康診断や人間ドックなどを利用している方へ（任意）

以下の書類を区へご提出いただいた方のうち、健診結果から特定保健指導の対象となる方にはご案内を送付します。

【提出書類】

- ・健康診断結果票の写し
- ・令和8年度葛飾区特定健康診査受診券（裏面の質問票を記入したもの）

◆ 問い合わせ先 ◆

制度について

○葛飾区福祉部国保年金課 03-5654-8173

健診内容について

○葛飾区健康部健康推進課 03-3602-1268

健康長寿筋肉元気健康診査

実施期間：令和8年6月1日～令和8年9月30日



▲HPはこちら

対象

特定健康診査の対象者のうち70歳の方（介護保険の要介護・要支援の方を除く）

健診内容

健康長寿筋肉元気健康診査は、サルコペニア（筋力低下）の疑いを早期発見する健診です。

- 1 サルコペニア（筋力低下）に関する問診および椅子からの立ち上がり、自己指輪っか確認などの測定・検査を実施します。
- 2 問診・測定・検査の結果から、サルコペニア（筋力低下）の予防が必要と判断される方には、無料で受けられる葛飾区医師会の栄養指導・機能訓練をご案内します。

長寿（後期高齢者）医療健康診査

実施期間：令和8年6月1日～令和8年9月30日



▲HPはこちら

対象

東京都後期高齢者医療制度に加入している方のうち葛飾区に住民登録がある方
※住所地特例制度に該当する方は、葛飾区に住民登録がない場合でも対象となります。

対象外の方

※受診券が届いた場合でも、1つでも当てはまる場合は受診できません。

- ・介護保険施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院）等に入所している方
- ・6か月以上の長期入院をしている方

持ち物

- ①令和8年度葛飾区長寿（後期高齢者）医療健康診査受診券
（裏面の質問票を記入したもの）
 - ②健康診査・検診受診券
 - ③マイナ保険証（健康保険証として利用登録したマイナンバーカード）、または資格確認書
- ※機器の故障などにより医療機関でマイナ保険証が利用できない場合は、マイナ保険証と併せて「マイナポータル資格情報画面」または「資格情報のお知らせ」を医療機関に提示してください。

健診内容

【基本検査】

身体測定、血圧測定、肝機能検査、血中脂質検査、血糖検査、尿検査、腎機能検査

【医師の判断などで実施する検査】

貧血検査、心電図検査、胸部エックス線検査

【健診結果】

受診した医療機関でご確認ください。

受診期間中に75歳になる方へ

特定健康診査は誕生日の前日まで受診できます。誕生日以降は「長寿（後期高齢者）医療健康診査」の対象となり、誕生月の前月末に受診券を送付します。

★どちらか一方しか受診できません。

勤務先の健康診断や人間ドックなどを利用している方へ（任意）

以下の書類を区へご提出いただいた方のうち、健診結果から低栄養が疑われる方には、栄養指導のご案内を送付します。

【提出書類】

- ・健康診断結果票の写し
- ・令和8年度葛飾区長寿（後期高齢者）医療健康診査受診券
（裏面の質問票を記入したもの）

◆ 問い合わせ先 ◆

制度について

○葛飾区福祉部国保年金課 03-5654-8173

健診内容について

○葛飾区健康部健康推進課 03-3602-1268

健康長寿いきいき健康診査

実施期間：令和8年6月1日～令和8年9月30日



▲HPはこちら

対象

長寿（後期高齢者）医療健康診査の対象者のうち76歳・81歳の方（介護保険の要介護・要支援の方を除く）

健診内容

健康長寿いきいき健康診査は、フレイルおよびサルコペニアの疑いを早期発見する健診です。

- 1 身体の状態について3項目の質問をします。
- 2 質問の結果、必要と認められる方には自己指輪つか確認や飲み込み、立ち上がりのテストをします。
- 3 テストの結果から、フレイルおよびサルコペニアの予防が必要と判断される方には、無料で受けられる葛飾区医師会の栄養指導・機能訓練をご案内します。

基本健康診査

実施期間：令和8年6月1日～令和8年9月30日



▲HPはこちら

対象

区内にお住いの40歳以上の方（昭和62年3月31日以前生まれ）のうち、次のいずれかに該当する方

- (1) 生活保護を受給している方および中国残留邦人等支援給付を受けている方
- (2) 令和8年4月2日以降に葛飾区国民健康保険に加入した方
- (3) 令和8年4月2日以降に被用者保険（被扶養者の方に限る）または国保組合に加入した方

健診内容

【基本検査】

身体計測、血圧測定、身体所見、尿検査、血液検査、胸部エックス線撮影

【医師の判断などで実施する検査】

貧血検査、心電図検査

【健診結果】

受診した医療機関でご確認ください。

受診にあたっての注意

- 血液検査に影響するため、できるだけ朝食をとらず（水は大丈夫です）に受診してください。
- 午後に受診する場合は軽めの朝食をとり、その後は水以外の飲食物をとらないでください。
- 脱水症予防のため、のどが乾いたら水を飲んでください。

健康づくり健康診査

実施期間：令和8年4月1日～令和9年3月31日



▲HPはこちら

対象

他に健診を受ける機会のない、20歳～39歳の方（昭和62年4月1日～平成19年3月31日生まれ）または、3歳未満のお子さんをお持ちの方

生活習慣を見直しましょう

糖尿病等の生活習慣病は長い期間をかけて重症化していきます。いずれは悪化し、心筋梗塞や脳卒中などの重篤な状態になることがあります。現在健康に不安がなくても定期的に健康診査を受け、生活習慣の改善や治療につなげることが重要です。

健診内容

【基本検査】

身体測定、身体所見、血圧測定、尿検査、血液検査、胸部エックス線撮影（希望制）

【健診結果】

受診した医療機関でご確認ください。

もっと健康について知りたい方へ

「とうきょう健康
ステーション」
東京都保健医療局



「健康づくりサポートネット」
生活習慣予防のための
健康情報サイト



心の健康も管理！
ストレスチェックを
してみましょう



肺がん検診

実施期間：令和8年6月1日～令和8年9月30日



▲HPはこちら

肺がんは、死亡数が男女合わせて最も多いがんです。
肺がん検診は1年に1回の検診であり、継続して受診することが重要です。

対象 ※健康診査と同時に受診できます。健診受診時に、受診希望であることをお伝えください。

40歳以上の方（昭和62年3月31日以前生まれ）

検診内容

問診後、胸部エックス線写真により判定します。

検査結果

受診した医療機関でお聞きください。
※がん検診の結果、精密検査が必要になった場合は、受診された医療機関の医師にご相談ください（有料 保険診療）。

前立腺がん検診

実施期間：令和8年6月1日～令和8年9月30日



▲HPはこちら

対象 ※健康診査と同時に受診できます。健診受診時に、受診希望であることをお伝えください。

60歳～74歳の男性（昭和27年4月1日～昭和42年3月31日生まれ）

検診内容

問診後、採血を行い血液中のPSA値（※）を測定します。

※PSA（前立腺特異抗原）とは前立腺から分泌される特異なたんぱく質の一種です。

一般に4 ng/ml未満が正常値といわれています。

検査結果

受診した医療機関でお聞きください。
※がん検診の結果、精密検査が必要になった場合は、受診された医療機関の医師にご相談ください（有料 保険診療）。

大腸がん検診

実施期間：令和8年6月1日～令和8年9月30日



▲HPはこちら

大腸がんは、かかる人が最も多いがんです。がん死亡の上位に位置しています。
大腸がん検診は1年に1回の検診であり、継続して受診することが重要です。

対象 ※健康診査と同時受診に限ります。健診受診時に、受診希望であることをお伝えください。

特定健診・長寿医療健診・基本健診・特定健診追加検査を受診する方のうち、40歳以上の方（昭和62年3月31日以前生まれ）

検診内容

2回の検便による便潜血検査です。採便キットは開封後5日以内にご使用いただき、医療機関にご提出ください。なお、1回分しか取れない場合でも大腸がん検診の受診は可能です。

検査結果

受診した医療機関でお聞きください。
※がん検診の結果、精密検査が必要になった場合は、受診された医療機関の医師にご相談ください（有料 保険診療）。

胃がん検診(胃内視鏡検査)

実施期間：令和8年6月1日～令和9年2月28日



▲HPはこちら

胃がんは50歳代以降に多いがんです。がん死亡の上位に位置しています。胃がん検診は2年に1回の検診であり、継続して受診することが重要です。

対象

令和9年3月31日時点の年齢が50歳以上の区民で、以下の除外要件に該当しない方

※令和7年度に区の胃がん検診(胃内視鏡検査)を受診した方、職場等で受診機会のある方は区の胃がん検診(胃内視鏡検査)の対象ではありません。検診は無症状の方を対象としており、他の検査や診療等で内視鏡による精密検査が必要とされた方は対象外です。

検診内容

問診、胃内視鏡検査(口または鼻)

受け方

①前日の注意事項

検診前日の午後9時(検診開始予定時刻の12時間前)までに食事を済ませ、それ以降は飲水のみにしてください。(胃の中に食物が残っていると検査を中断することがあります)

②当日の注意事項

検診当日の喫煙はお控えください。また、服薬が必要な方は、検査当日の午前6時(検査開始時刻の3時間前)までに服用してください。

③受付

予約した検診実施機関の受付に、受診券、マイナ保険証等、お薬手帳(服薬中の方)、健康診断の結果(お持ちの方)をお出しください。

④問診・検査

問診・説明後、同意書に署名し、内視鏡検査を受診してください。

⑤検診結果

検診当日に一旦所見等をお知らせしますが、ダブルチェックによる判定後、最終的な検診結果が確定します。結果は1か月程かかる場合があります。

除外要件等にあたる方

該当する方は胃がん検診(胃内視鏡検査)を受診いただけません。

- ・胃に自覚症状がある、胃疾患で治療中、または、内視鏡治療後で経過観察中の方
- ・胃全摘術後の方
- ・疾患の種類にかかわらず入院中の方
- ・妊娠中の方
- ・他の検診等の結果、精密検査で内視鏡による検査を行う予定の方

以下に該当する場合は問診時の医師の判断により、受診をお断りする場合があります。

- ・インフォームドコンセント(説明・同意)や同意書の取得ができない方
- ・重篤な疾患があり内視鏡の挿入ができない方
- ・呼吸不全のある方
- ・重篤な不整脈などの心疾患がある方
- ・血圧測定結果、医師が検査をしないと判断する方
- ・明らかな出血傾向またはその疑いがある方
- ・全身状態が悪く検査に耐えられないと判断される方



◆胃がん検診(胃内視鏡検査)の受診にあたっての注意事項◆

- ・検診の前日はなるべく普段どおり過ごし、検査当日の体調に異常がないかご注意ください。
- ・内視鏡挿入時に医師の判断で、組織の一部を採取する「生検」を行うことがあります。その際は保険診療として別途費用が発生します。検診当日は必ずマイナ保険証等をお持ちください。
- ・消化管出血や穿孔(穴があく)などの偶発症のリスクを避けるため、鎮痛薬・鎮静薬は使用しません。
- ・検査前に説明を十分に受け、同意書に署名してください。
- ・検査後体調が優れないなどありましたら、受診した検診実施機関にご連絡ください。

乳がん検診

実施期間：令和8年4月1日から 視触診：令和9年1月31日まで
マンモグラフィ検査：令和9年3月中旬頃まで



▲HPはこちら

乳がんは、女性の9人に1人がかかると言われています。また、女性のがん死亡の上位に位置しています。乳がん検診は2年に1回の検診であり、継続して受診することが重要です。

対象

令和9年3月31日時点で40歳以上の女性

対象外の方

- ・ 令和7年4月以降に葛飾区乳がん検診を受けた。
- ・ 妊娠中
- ・ 授乳中、または断乳後6か月を経過していない
- ・ 乳房付近にシャント(VPシャント等)やポート、植込み型の心臓ペースメーカーや、除細動器等を挿入している。
- ・ 豊胸手術を受けている。
- ・ 乳房の疾患で治療中又は経過観察中
- ・ 自覚症状がある。
- ・ マンモグラフィを受けられない、または受けたくない。

乳がんについて

乳がんは30歳代から増え50歳代までの働き盛りの世代に多く見られ、女性におけるがん死亡の上位に位置しております。40歳からは2年に1度、継続して乳がん検診(マンモグラフィ検査)を受けることで、自分では気づきにくい、初期のがんを見つけることができます。

検診内容

- ・ 視触診とマンモグラフィ検査(併用検診・無料)
マンモグラフィ検査は、視触診の後1か月以内を目安に受ける必要があります。(検診外の検査は有料)

受け方

- ①マンモグラフィ検査を予約
 - ②視触診を受ける
 - ③マンモグラフィ検査を受ける
予約した日時・会場で受ける
 - ④結果は、マンモグラフィ検査後1か月半程でご自宅に郵送します。
- ※会場・予約方法等については「実施医療機関一覧表2」を参照ください。

乳房を意識した生活習慣(プレスト・アウェアネス)

日頃からの乳房の状態を知ることによって変化に気づきやすくなります。変化に気づいたら早めに医療機関に相談しましょう。

子宮頸がん検診

実施期間：令和8年4月1日～令和9年2月28日



▲HPはこちら

子宮頸がんは、女性のがんの中で比較的多くなっています。20歳代後半から増え、特に30歳代から40歳代で増加傾向です。子宮頸がん検診は2年に1回の検診であり、継続して受診することが重要です。

対象

令和9年3月31日時点で20歳以上の女性 ※前年度受診した方は受診できません。

検診内容

問診・視診・細胞診・内診

受診時の注意

- ①生理中および生理直後の数日間は受診しないでください。
- ②前日に入浴しても膣内は洗わないでください。
- ③受診の2～3日前から性生活はさけてください。

その他

検診外の検査は、検診費用(保険診療外)が別途必要となります。

結果について

- ①検査の結果は約2週間後に、**検診医療機関でお伝えします**。その際はマイナ保険証等をお持ちください。結果は、「精密検査不要」「要精密検査」のいずれかでお知らせします。
- ②検診の結果、さらに**精密な検査が必要な方**には、検診医療機関が精密検査実施医療機関をご紹介します。**必ず精密検査を受けてください**(保険診療)。
- ③精密検査の結果は**検診医療機関に報告**してください。

※具体的な症状のある方や治療中の方は、がん検診ではなく、医療で受診してください。

胃がんハイリスク検診

実施期間：令和8年6月1日～令和8年9月30日



▲HPはこちら

対象 ※特定健康診査と同時受診に限ります。健診受診時に、受診希望であることをお伝えください。

葛飾区特定健康診査を受診する方のうち年度末年齢が40歳の方

検診内容

【胃がんハイリスク検診について】

血液を採取して、「ペプシノゲン検査」と「ピロリ（ヘリコバクター・ピロリ）菌抗体検査」を行い、胃がんになりやすい胃粘膜の状態かどうか調べる検査です。

【検査方法】

特定健診の血液検査で採血した血液を使い、検査を行います。

※この検査は胃がんになりやすい胃粘膜の状態かどうかを調べる検査です。

胃がんそのものを診断するものではありません。

注意事項

【次の方は正確な検査結果が得られない、治療が優先される必要があるため、胃がんハイリスク検診は受けずに、主治医にご相談ください。】

- ・明らかな上部消化器症状があり、胃や十二指腸の疾患が強く疑われる方
- ・食道、胃、十二指腸疾患で治療中の方・胃切除後の方・腎不全で治療中（あるいは経過観察中）の方
- ・ピロリ菌除菌治療を受けた方・胃酸分泌抑制剤（プロトンポンプ阻害剤）のみ服用中または2か月以内に服用していた方

肝炎検査

実施期間：令和8年6月1日～令和8年9月30日



▲HPはこちら

対象 ※健診受診時に、受診希望であることをお伝えください。

特定健診・長寿医療健診・基本健診・特定健診追加検査を受診する方の中で、過去にB・C型ウイルス肝炎検査を受けたことがない方及び医師が必要と判断した方

B型・C型肝炎とは？

肝臓の炎症を引き起こすウイルスによって肝臓の細胞が壊された状態をいいます。

放置すると肝臓がんなどに進行することがあります。検査で早期に発見し、適切な治療を受けることが大切です。

検査内容

○血液検査

※検査結果が陽性だった場合、保健指導の目的で、健康推進課・保健予防課からご連絡する場合があります。



葛飾区で実施する健診を受けない方

区内にお住まいの方は、随時、「肝炎ウイルス検査」受けることができます。

詳しくは、保健予防課（03-3602-1274）までお電話いただくか、区ホームページをご覧ください。



詳しくはこちら→

B・C型ウイルス肝炎治療費助成制度

検査結果が陽性の場合の医療費助成制度があります。

問い合わせ先

葛飾区健康部保健予防課

☎03-3602-1274



眼科健康診査

実施期間：令和8年6月1日～令和8年9月30日



▲HPはこちら

眼の病気の早期の発見のために

緑内障・糖尿病網膜症・白内障などの眼の病気は、早期にはほとんど自覚症状がありません。発見が遅れると視力が障害を受け、最悪の場合失明する可能性もあります。健診を受けて、眼の健康を確認しましょう。

対象

45歳・50歳・60歳の方（令和9年3月31日時点の年齢）

健診内容

問診・視力検査・精密眼圧検査・細隙燈顕微鏡検査・精密眼底検査
・眼底カメラ検査（医師が必要と認めた場合に実施します）

注意事項

瞳孔（ひとみ）を薬で開いて検査する場合があります。正常な状態にもどるまで6時間ほどかかることがあるので、自動車等での来院はご遠慮ください。また、翌日の朝まで症状が残るようでしたら、至急受診された眼科にご連絡ください。

※健診時に投薬や眼鏡の処方はできません。ご希望される方は、**日をあらためて**受診してください。

骨粗しょう症予防検診

実施期間：令和8年4月1日～令和9年3月31日



▲HPはこちら

対象

令和8年4月1日～令和9年3月31日の間に40・45・50・55・60・65・70歳になる葛飾区民の女性
※治療中（治療予定含む）、妊娠中の方は受診できません。

骨粗しょう症とは

骨の量（骨密度）が減少することによって骨がもろくなり、骨折しやすくなる病気です。女性は、50歳前後の女性ホルモンの変化から骨密度が減少しやすくなります。検診をきっかけにご自身の骨密度を知り、生活習慣の改善など骨粗しょう症を予防しましょう。

検査内容

- 問診
- 骨密度測定（腕、腰、大腿のいずれかをDXA法で測定）

要治療のときは…

骨粗しょう症になると、転倒により骨折する危険性が高くなります。追加検査として、運動機能をみる検査が無料で受けられます。運動機能の低下が疑われる場合は、一覧表にある運動指導医療機関を受診して転倒予防の運動指導（保険診療）を受けましょう。骨粗しょう症の治療は、一覧表にある治療医療機関で受けられます。ただし、骨粗しょう症の治療薬は歯科診療に影響する可能性があるため、治療前に必ず歯科を受診しましょう。運動指導医療機関や治療医療機関を受診の際は、受診票を持参してください。

精密検査について

がん検診結果の「要精密検査」とは、病気の可能性が疑われる異常が認められた状態であり、原因を特定するために、より詳しい検査が必要と判断されたことを意味します。精密検査は、早期発見や適切な治療を行うために非常に重要です。

精密検査を受けなかった場合、本来早期で発見されるはずのがんを見逃してしまう可能性があります。

そのため、「要精密検査」と診断された場合は、必ず速やかに精密検査を受診しましょう。なお、精密検査は保険診療です。精密検査受診の際は自己負担費用がかかります。

検診名	精密検査方法
肺がん検診	胸部CT検査や気管支鏡検査などを行います。
前立腺がん検診	MRI検査やエコー検査などを行います。
大腸がん検診	全大腸内視鏡検査を行います。全大腸内視鏡検査が困難な場合は、S字結腸内視鏡検査と注腸エックス線検査の併用検査などを行う場合があります。
胃がん検診 (内視鏡検査)	胃生検（胃の組織の一部を採取し、顕微鏡などで調べる検査）または胃内視鏡検査の再検査を行います。
乳がん検診	マンモグラフィの追加検査や超音波検査、穿刺吸引細胞診や針生検などを行います。
子宮頸がん検診	コルポスコープを用いた組織診や細胞診、HPV検査などを組み合わせたものを行います。
胃がんハイリスク検診	胃内視鏡検査を行います。

その他の注意事項 ※必ずお読みください

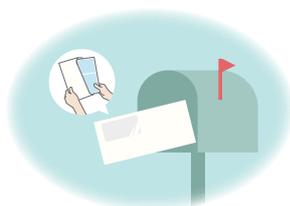
- ◆検診は継続的に受診することが重要です。但し、検診前に症状がある場合は、次の検診を待たずに医療機関を受診してください。
- ◆区のがん検診のうち、胃がん内視鏡・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がんは、科学的に有効性が確認された、がんの死亡率減少に効果のある（国が推奨する）検診です。がんを必ず見つけられるわけではないこと（偽陰性）、がんがなくても結果が「陽性」となる場合があること（偽陽性）、生命状態に影響しないがんが見つかる場合があること（過剰診断）などがあります。
- ◆検診は葛飾区と、各医療機関・医師会が連携して行っています。精密検査の結果は関係機関で共有され、葛飾区へと報告されます。また、最初に受診した医療機関と異なる医療機関で精密検査を受けた場合は、最初に受診した医療機関にも後日、精密検査が共有されます（医療機関の検診精度向上のため）。

健診（検診）の受診のしかた

STEP 1

「受診券」で受診できる
健診（検診）を確認

受診できる健診（検診）
が印字されています。
※印字されていない検診でも、
対象であれば受診可能です。
詳しくはお問い合わせ
ください。



STEP 2

医療機関を選び、
予約をする。

「実施医療機関一覧」から、
医療機関を選び、電話等をして、
予約の要否、休診日、診療時間等
を確認してください。



STEP 3

健診（検診）を受ける。

「受診券」と「マイナ保
険証または資格確認書」
を医療機関に持参して健
診を受けます。
※健診（検診）により、持ち
物が異なる場合があります。
詳しくは各健診（検診）ペー
ジをご確認ください。



受診時の注意事項 ※健診（検診）をお受けになる前に必ずお読みください

- ① 受診日時点で葛飾区に住民登録のない方は受診できません（住所地特例を除く）。
- ② 1年度内に同じ健診（検診）を2回受診することはできません。2回目からは区の健診（検診）の対象外となり、健診（検診）に要する費用の総額を負担していただくこととなりますので、ご注意ください。
- ③ 精密検査や治療等が必要な場合は、保険診療（有料）となります。
- ④ 各健診（検診）は、治療中や経過観察中の方は対象外です。他にも対象とならない場合がありますので、詳しくは各健診（検診）案内のページをご覧ください。

◆ 問い合わせ先 ◆

葛飾区健康部（保健所）健康推進課 ☎：03-3602-1268 所在地：葛飾区青戸4-15-14

モンチャレ

モンチッチと 歩こう！



© SEKIQUCHI

かつしかActiveチャレンジ

葛飾区内在住・在勤・在学 対象：18歳以上



WoLN 🔍 検索

各アプリストアで検索！
または、二次元コードでアクセスして
インストールしてください

iPhoneをご利用の方は
こちらよりインストール



Androidをご利用の方は
こちらよりインストール

